

「3年生 修学旅行（令和4年5月24日～26日 2泊3日 広島・宮島・呉）」

今年は2年ぶりに2泊3日の修学旅行となりましたが、3年生の素晴らしさ（団体行動、規律と秩序、真面目さ）を感じる充実した修学旅行でした。

1日目は、広島平和記念公園にある「原爆の子の像」に千羽鶴を捧げ、平和宣言、平和の思いを込めた「地球星歌」を合唱するセレモニーを行いました。千羽鶴は、昨年度大谷小と鞆ヶ谷小の児童や、大谷中の在校生が協力して作ったものです。セレモニーが始まると、平和公園に来ていた200人以上の高校生等の団体が、大谷中3年生の後ろに集まり、合唱の途中では涙ぐむ人もいて、最後に大きな拍手が沸き上がりました。大谷中のセレモニーは、多くの人の心に感動を残しました。

2日目は、もみじ饅頭づくり、世界遺産である厳島神社と宮島水族館の見学、3日目は呉湾クルージングで海上自衛隊艦船の見学、大和ミュージアムの見学と平和の大切さと歴史を考える修学旅行でした。

3年生にとっては、一生に一度の修学旅行であり、一人一人にたくさんの思い出と学んだことがあると思います。最上級生として、これからの学校生活において1・2年生の模範となることを期待しています。

最後に保護者の皆様には、修学旅行に向けての準備等について、ご理解とご協力で心から感謝申し上げます。

○生徒の感想

この3日間で、まず団体で行動する団結力が身に付いたと思います。反省することが多かったけど、2日目から切り替えて、その場のルールやマナーを意識して、一般の方に迷惑がかからないようにすることができました。クラスの友情がさらに深まった最高の思い出になりました。

旅行中のルールは厳しかったけど、厳しかったからこそ楽しかったと、ルールの大切さを思いました。

友達の意外な一面を知ることで、仲を深めることができました。また、今までやったことのないことに挑戦することは、難しく緊張しますが、それを乗り越えるといういろいろな景色が見ることができて、より楽しめることも分かりました。

皆が団結して班行動することができましたが、一人一人の気持ちを考えてあげることが難しかったです。

3日間の修学旅行で学んだことは、協調性をもつことです。一人ではできないことも、みんなで協力して乗り越えていくことが大事だと思いました。

原爆資料館では、原爆の恐ろしさを改めて感じて、今の生活が当たり前でないことを実感し、普段の生活に感謝していきたいと思いました。

セレモニーは、短い期間で一生懸命練習してきた成果を出せた。他の学校の泣いていた人の話や拍手を聞いて、私たちの思いが伝わったんだと感じうれしかった。

2年生の終わりからスローガンづくりなどの活動を始めて、たくさんの人の頑張りがこの旅に表れていてよかったと思いました。

先生から「一人も欠けず全員で北九州に帰る」という言葉を聞いて、みんな一致団結して、点呼やコロナ対策をきちんと行えました。おかげで充実した3日間を過ごせました。

